

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8247
担当部課名	都市部	都市計画	課	
事務事業名	市街化区域内農地対策事業		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	6
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	年度

2 実施根拠及び関連法令等

生産緑地法、農住組合法

3 事業概要

(1) 事業の目的 相模原市における市街化区域内農地を活用（計画的な土地利用、生産緑地地区等の農業振興）し、良好な市街地形成を図る。	(2) 対象（誰、何） 庁内関係各課・機関 農業協同組合
	対象数 31課・機関
(3) 平成13年度事業の内容 ・参考図書「都市農地とまちづくり」の購入 年間4冊	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし
	(5) 個別計画の概要 計画名 都市計画マスタープラン 計画年次 11年度～31年度 ・都市計画マスタープランに基づき、自然環境との共生に配慮した土地利用（農業の振興）を図る。 ・みどりの基本計画に基づき、優良な農地として農振・農用及び生産緑地地区の保全を図る。

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算（予算）額	5	5	123	123
	人員・時間数	1h	1h	3h	3h
	人件費	5	5	13	13
	その他経費				
	合計	10	10	136	136
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由: 市内の市街化区域内農地を活用し、良好な市街地形成を図るために、平成6年7月に市と農業協同組合で相模原市市街化区域内農地対策連絡協議会を設立した。協議会発足当初は目標を達成するために会議、先進都市の視察等、活発な活動を行っていたが、平成12年度からは初期の目標を達成したため会議も開催されず、協議会の存在は形骸化してしまっている。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 C ▼	A:適応している	理由: 協議会設立当時は、時代に適応した事業内容であったが、社会経済状況の変化など、本市を取り巻く状況が大きく変化しているため、現在は時代変化に適応しているとは言えない。
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 C ▼	A:妥当である	理由: 事業の予算執行は参考図書を購入のみであり、妥当な予算執行とは決して言えない。
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由: 本事業は事業目的の主旨からして市の施策が大きく関わってくるので、代替の可能性は低いといわざるを得ない。
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A:満足できる	理由: 当初の目的が達成されている意味では、市民(農業者)は満足していると判断している。
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 C ▼	A:有効である	理由: 協議会設立当時は、有効な事業であったと思われるが、現在では有効とは言えない。
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 先に述べたように協議会の存在が形骸化している今、成果向上の余地はないと思われる。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 講師謝礼、会議費、印刷代、消耗品費を予算計上しているが、会議が開催されていないため、消耗品費(参考図書購入)の執行のみとなっており、当該事業の予算措置はとりあえず必要ないと</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	近隣市では、本協議会を組織しているところはない。
		<p>今後の進め方</p> <p><input type="checkbox"/> 継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 完了</p>
説明		市内の市街化区域内農地を活用し、良好な市街地形成を図るために市と農業協同組合とで相模原市市街化区域内農地対策連絡協議会を設立し、目標達成に向けた検討を進めてきたところだが、当初の目標を達成した現在では会議も開催されていないのが現状である。毎年予算措置はされているが、来年度以降は、とりあえず予算計上は必要ないと思われる。時代に即した事業の見直しを検討していく中で必要性が生じた場合に予算の計上を図っていきいたいと考えている。

8 二次評価における変更点

・事業は目的を果たし、休止状態であるため廃止し、必要となった際に事業化を図るよう検討すべきである。